

97.6%

65 歳以上の患者の入院早期の栄養ケアアセスメント実施割合

測定値の定義・計算方法

Outcome 分子： 分母のうち入院後 4 8 時間以内に栄養ケアアセスメントが行われたことがカルテに記載された患者数

分母： 当該月の65 歳以上の退院患者数

活動のきっかけ

入院早期に栄養リスクを評価し、適切な介入を行うことで、在院日数の短縮や予後改善に繋がられる。

改善活動部門

- 栄養管理部

考察

上手くいったこと	課題と感じたこと
<ul style="list-style-type: none">入院早期に診療状況や栄養状態・摂食嚥下機能に応じた栄養管理を策定し、適切な栄養管理に繋げることができた。さらに退院後の療養環境に応じた栄養管理方法について、外来通院時も継続的栄養支援を行うことができた。	<ul style="list-style-type: none">アセスメント実施割合はプロセス指標であるため、栄養管理計画実施後、入院中に栄養状態の維持・改善・低下防止に繋がられたことへのアウトカム指標を分析し栄養管理の質の向上を目指す必要がある。 <p>※2026年度より、退院時の栄養評価について、栄養状態「改善」「維持」「低下防止」「改善困難」「栄養評価不可」の5群に分類し、データ蓄積を開始した。</p>